

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	上村1号線整備事業	会計	一般会計	事業No.	600	施策順No.	72-012	
		事業種別	政策・重点	予算科目	8-2-3-11-7			
政策	7 自立・連携した地域づくり			課等名	土木課			
施策	72 自立に向けた住民組織力の向上			事業期間	開始	22	終了	26

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	通過車両						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		自動車交通量:台/日		214		220	220	
	意図	便利で安全に移動ができる。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	進捗率:% (当年度までの実施済額/全体事業費×100)				6	6	17	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	計画的に事業を進め、目標を達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	地域再生計画に基づいて地域の活性化を目指し道路を改良する。幅員が狭く急勾配であるとともに法面崩壊により安定的な通行が出来ない状態にあるため、勾配修正、拡幅改良、待避所設置及び舗装打替を行い、交通の安全を図る 上村1号線(大平工区)道路改良工事 L=800m W=4.0(5.0)m		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 道路改良工事 2 詳細設計	1 施工延長 2 詳細設計	1 L=80.0m 2 1式
23年度実施計画	道路改良工事	整備延長	L=100m

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金		2,700	2,700	10,000	
	県支出金					(国)道整備交付金(1/2) (地)過疎対策(充当率100%)
	起債		2,800	2,800	10,300	
	その他					
	一般財源					
	計(A)		5,500	5,500	20,300	
	正規職員所要時間			30		
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)			107		
	トータルコスト A+B			5,607		

4 事業に対する市民や議会の意見

南アルプスが目前に迫る大自然豊かな「しらびそ高原」は、年間10万人の観光客が訪れ、誰もが安全・安心して走ることが出来る道路整備を望んでいる。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産、事業者が、便利で安全に移動ができる	施策の成果指標又はムトス指標	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路):%
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	幅員が狭く急勾配であるとともに法面崩壊により安定的な通行が出来ない状態にあるため、勾配修正、拡幅改良、待避所設置及び舗装打替を実施した。		
	後期に向けた課題	早期改良に向け、計画的な工事の実施を行う。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	工法の検討を行い、安価な工法を採用した。		
	後期に向けた課題	工法の検討を行い、安価な工法を採用する。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	経費の縮減と再生材の使用。		
	後期に向けた課題	経費の縮減と再生材の使用及び職員の意識向上。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	幅員が狭く急勾配であるとともに法面崩壊により安定的な通行が出来ない状態にあるため、勾配修正、拡幅改良、待避所設置及び舗装打替等の工事により改善された。		
	後期に向けた課題	改良工事の要望が強いので、予算確保による計画的な事業実施。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------